

お知らせ > 能登半島地震による商品の配達への影響について > 医師向け専門医相談サービスが使えるようになりました

宮岡等の「精神科医のひとりごと」 > その疾患啓発は正しい「啓発」か「喧伝」か

宮岡等の「精神科医のひとりごと」

フォロー中

その疾患啓発は正しい「啓発」か「喧伝」か

2015/04/22

宮岡等

精神・神経

印刷 | シェアする 0 5 ポスト

疾患に関する正しい情報を一般市民に伝える「疾患啓発 (disease awareness)」の重要性はよく知られている。最近はマスメディアを通しての疾患啓発が増えた。早期発見と診断、治療が明らかな転帰の改善につながるのであれば、疾患啓発の果たす役割は大きい。

しかし最近、それほど治療が必要とはいえない、あるいは早期の治療で必ずしも症状や転帰が改善するとは限らない疾患であるにもかかわらず、特定の疾患の早期発見や治療の重要性が製薬会社によって強調されることがある。製薬会社の意図は、その疾患に効果があるとされる薬剤の売り上げ増加にある。しかしその傾向が強すぎると、もはやそれは疾患啓発ではなく「疾患喧伝 (disease mongering)」といわれるようになる。

疾患喧伝とは、製薬企業が販路を広めるために特定の病気を必要以上に問題化し、治療を勧めることをいう。多くの場合、医学領域の専門家と共同して行われる。精神疾患の場合は、薬剤だけでなく非薬物療法に関する喧伝もある。精神療法や社会復帰などの非薬物療法に関するDVDや書籍を販売する企業が、精神疾患と診断される範囲を広げようとしていることがある。これも疾患喧伝の1種といえよう。

「啓発」の範囲はどこまでなのか？

どこまでが適切な疾患啓発で、どこからが疾患喧伝なのかという判断はなかなか難しい。身体疾患では、高脂血症や軽症高血圧、メタボリックシンドロームなどにおいて、その境界が問題となることが多い。精神疾患ではうつ病や不眠症、認知症、大人における注意欠如・多動性障害 (ADHD) などで問題となりやすい。

確かに、議論となる疾患の多くは薬物療法が有効であるとされている。認知症のように、新たな薬剤の発売に伴い、早期診断、治療が強調され始めた疾患もある。

ここで、筆者の専門とする精神疾患について考えてみる。日本の抗うつ薬は、フルボキサミン (商品名ルボックス、デプロメール) の治験以来、薬剤と、薬剤としての活性のないプラセボとの比較で治験が行われている。しかし、ほとんどの薬剤の効果はプラセボと大きな差がついていない。

また、レビュー文献などを見ると、重症うつ病では抗うつ薬の効果がプラセボに優るが、軽症うつ病ではプラセボと差がないとされている (宮岡等著「うつ病医療の危機」日本評論社、2014年)。さらに副作用の可能性まで考えて総合的に評価すると、うつ状態が軽症であれば抗うつ薬療法を行う意義は少ない。

それにもかかわらず、「うつ病と診断→抗うつ薬療法」という考え方が広まっているし、精神科医でもそう信じている者が少なくない。精神科医以外の医師が抗うつ薬を使う機会も増えたが、「うつ→抗うつ薬」の傾向はさらに強まっているように思う。

Next

「精神科医の「啓発」は本当に正しいのか？」について

い込み



1

2

>

シェアする 0

5

ポスト

著者プロフィール

宮岡等（北里大学名誉教授、東北医科薬科大学臨床教授）●みやおかひとし氏。土佐高校卒、慶應義塾大学卒。東京都済生会中央病院精神科、昭和大学精神科を経て1999年5月から2021年3月まで北里大学医学部精神科学主任教授。2015年7月から2020年3月まで北里大学東病院院長（兼務）、2017年7月から2019年6月まで神奈川県医師会理事。



連載の紹介

宮岡等の「精神科医のひとりごと」

精神疾患患者の増加に伴い、精神科診療に関わる医療従事者は今後ますます増えていきます。精神科医はもちろん、精神科以外の医療従事者にも知っておいてほしい精神医療の現状や課題を、筆者が伝えます。

フォロー中

この連載のバックナンバー

コロナ禍で少し楽になったかもしれない人たち

2023/01/11

抗うつ薬処方の前に最低限考えたいこと

2022/12/05

DSMがうつ病診療にもたらしたもの

2022/10/21

適応障害をめぐるモヤモヤを晴らしたい

2021/09/24

適応障害の安易な診断がNGなこれだけの理由

2021/09/09

[> もっと見る](#)

この記事を読んでいる人におすすめ

私の視点

横浜内科学会がMR研修制度を作る理由

2015/03/04

Search bar with a magnifying glass icon and a dropdown arrow.



- 医師
- 若手医師・学生
- 看護師
- 薬剤師
- オンデマンド 8
- Web講演会 8
- 調査 6
- 医師求人 9+

お知らせ > 能登半島地震による商品の配達への影響について > 医師向け専門医相談サービスが使えるようになりました

医師TOP > 宮岡等の「精神科医のひとりごと」 > その疾患啓発は正しい「啓発」か「喧伝」か

宮岡等の「精神科医のひとりごと」

フォロー中

その疾患啓発は正しい「啓発」か「喧伝」か

2015/04/22

宮岡等

精神・神経

印刷 | シェアする 0 | 0 | ポスト

「認知症の進行は薬がしっかり食い止める」という思い込み

認知症では、早期に発見して進行を防ごうという考え方がある。現在4種類の抗認知症薬が売り出されているが、治験の結果をみると、半年間の経過で増悪の程度がわずかに少ないという程度の効果である（宮岡等,大石智,上田諭,認知症薬の使い方を考える.このころの科,2013;No189,2-17.）。一方で、副作用が一定の割合で出現することを考えると、抗認知症薬を用いる意義は乏しいようにも思う。ところが昨今の認知症キャンペーンのせいもあって、認知症の進行をしっかり食い止める薬剤であるかのように理解している患者さんやご家族は少なくない。

薬剤の意義は本来、効果と副作用を総合して判断されるべきであるが、疾患喧伝とともに紹介される薬剤では効果のみが強調されやすいという面もある。一部の疾患に対する新薬の開発は行き詰まっているともいわれており、既に発売された薬剤の対象疾患を広げて、売り上げを伸ばそうとしているふしも感じられる。うつ病にしても認知症にしても、疾患喧伝の影響を考えながら、治験結果などから得られている適切な情報を患者さんに伝えた上で、治療方針を考えるべきであろう。

精神疾患における「疾患啓発」の光と影

精神疾患は身体疾患と異なる面がある。職場環境でストレスが大きいことを悩んでいる場合、うつ病という早期の診断が主治医と産業医の良い連携につながり、職場環境が改善することがあるし、家族も適切な対応を見出しやすい。また休養できる環境を確保し、さらには精神障害者保健福祉手帳や自立支援医療などの社会資源の利用が促進されることもある。こちらが強調されるのは疾患喧伝ではなく、疾患啓発の良い面ともいえる。

一方で、早期の休養や生活への支援がかえってうつ状態を長引かせるのではないかという議論（関連記事：「[「早めの精神科受診でかえって休職期間が延びる？」](#)」）もある。このあたりはうつ病という診断が適切な疾患啓発にも、疾患喧伝にもなりうることを示しているのであろう。認知症でも早期の診断は周囲の適切な支援や社会資源の利用につながりやすい。

疾患啓発は、疾患の進行度、求められる治療、予想される転帰、他の治療の可能性などが適切に情報提供されなければ、意義を失う。疾患啓発や疾患喧伝は、薬物療法が中心となる現代医療を再考するキーワードかもしれない。

宮岡等（北里大学名誉教授、東北医科薬科大学臨床教授）●みやおかひとし氏。土佐高校卒、慶應義塾大学卒。東京都済生会中央病院精神科、昭和大学精神科を経て1999年5月から2021年3月まで北里大学医学部精神科学主任教授。2015年7月から2020年3月まで北里大学東病院院長（兼務）、2017年7月から2019年6月まで神奈川県医師会理事。



連載の紹介

宮岡等の「精神科医のひとりごと」

精神疾患患者の増加に伴い、精神科診療に関わる医療従事者は今後ますます増えていきます。精神科医はもちろん、精神科以外の医療従事者にも知っておいてほしい精神医療の現状や課題を、筆者が伝えます。

フォロー中

この連載のバックナンバー

コロナ禍で少し楽になったかもしれない人たち

2023/01/11

抗うつ薬処方の前に最低限考えたいこと

2022/12/05

DSMがうつ病診療にもたらしたもの

2022/10/21

適応障害をめぐるモヤモヤを晴らしたい

2021/09/24

適応障害の安易な診断がNGなこれだけの理由

2021/09/09

> もっと見る

この記事を読んでいる人におすすめ

配信終了迫る！

未視聴

MReach



慢性咳嗽治療の課題、リフヌア(R)海外第III相試験の併合解析の結果は？～味覚関連の有害事象、日本人のデータも

視聴完了320Exp

杏林製薬

MReach

MReach



脈管腫瘍・脈管奇形の適切な治療法の使い分けをご存知ですか？最適な治療選択を経験豊富なエキスパートがサポートします。

Medii

記者の眼

「インフルエンザ治療に点滴薬」CMの是非

2014/03/03

REPORT

医師の原稿料、金額や個人名の開示で問題露呈

2014/09/18